発行　京都市保育園保護者会連合協議会
〒602-8143　京都市上京区猪熊通丸太町下る中之町519
京都社会福祉会館内
Tel.075―801―8810
Fax.075―822―6220
mail:info@shihoren.net

市保連ニュース

KYOTO 市保連

２０１９年７月号

2019 年度市保連総会報告

6 月 2 日(日)洛西保育園のホールをお借りして、市保連総会を開催しました。

京都市内の各保育園の保護者会から 39 名の参加がありました（委任状提出は 19 園)。たくさんのご参加ありがとうございました。

開会挨拶のあと、市保連新会長の田中智子さん（佛教大学准教授）を講師に「幼児教育・保育の無償化」についての学習会を開催しました。

その後、グループに分かれて、学習会の感想交流、各園の保護者会活動や行事の工夫などの情報交換、保護者会役員としてのお悩み相談などの分散会を行いました。

最後に総会議案を審議・採択しました。保護者会同士の交流も兼ねて、各園での学習会をシェアしたり、保護者が保育や子どもの発達について学ぶ機会も増したいと考えています。

総会終了後は、食事を取りながらの交流会を行い、今年初めて参加された保護者の方も含め、大人 31 人、子ども 19 人の参加で賑やかに開催をしました。

今年度の役員新体制は以下のとおりです。

会　長	田中	智子（白い鳩保育園）
副会長	徳永	理恵（たかつかさ保育園
	西山	頌秀（朱一保育園）
	長谷	航　（旭ヶ丘保育園）
		（朱い実保育園）
	丸山	啓史（墨染保育園）
事務局長	柳生	剛志（朱い実保育園）

前会長の中村陽介さん（風の子保育園）は今後も事務局員としてご参加いただきます。中村さんと新会長の田中さんの挨拶文はこのニュースの最後に掲載しています。

今年度は、11 月 24 日に保育ジャーナリストの猪熊弘子さんをお招きして、これからの保育制度を考えるシンポジウムを計画しています。またＢＢＱなどの交流企画もできればと考えています。

ぜひご参加ください。



学習会「保育無償化になったらどうなるの？」　報告と感想

今年の市保連総会では、新会長の田中智子さん（佛教大学准教授）を講師に保育の無償化について学びました。保育士配置基準を改善したらどんな保育ができるのかが具体的に説明されたり、無償化と引き換えにされてしまうものがあること(保育施設は単なる「受け皿」じゃない！)、子どもの育つ権利と育てる権利の確立が必要であることなどが印象に残りました。

「無償化」で保護者の経済的負担が軽くなる、確かにそう。ただ、消費税は上がるし、給食費も上がります。高所得者ほどメリットが大きく、低所得者にはほとんどメリットがない。保護者同士もいろいろと複雑な心境になります。そして、待機児童問題や保育士の処遇改善が先じゃないの、という声は当初からありました。

ー深刻な保育士不足ー

実際、保育士不足は深刻です。京都市の保育士の給与水準は京都市独自の補助制度により全国平均の 1.4 倍だそうですが、京都府内の保育士の有効求人倍率は 2013 年の 0.78 倍から 2017 年度は 2.53 倍に上昇していて、保育士が全然足りていません！

その結果、保育士を確保できずに定員割れしている保育園もあるし、途中入所がしにくくなったり、障害のある子どもが入園を断られたり(※)、ということも起きているようです（※障害児加配の保育士が確保できないため)。

無償化が進む裏側で、保育士不足が深刻化して、保育園も保育士さんも頑張りたいけど頑張れない状況に追い詰められていかないか、本当に心配です。

ー「保育の質」の底が抜けていくー

学習会で紹介されましたが、大阪府と大阪市は保育士の確保を事実上断念し、国家戦略特区の仕組みを使って、４割までは無資格者でも構わないとする新しい仕組みを導入するようです。「保育の質」の底が抜けていくような事態が広がり始めています。

財務省でも、保育園の運営費を引き下げる方向での議論が始まっています。保育園の運営費の７～８割は保育士給与が占めていますので、運営費の引き下げは保育士不足に拍車を掛けることになります。

財務省が目を付けているのは「土曜保育」です。利用率の低さを理由にして運営費を引き下げようとしています。京都市では、保育士の業務負担軽減のために、仕事以外の理由で土曜保育を利用することを控えて欲しいと保護者に要請がされています。保育士と保護者が協力しながら、土曜保育の仕組みを何とか維持しようとしている中で、そうした取り組みに逆行するような国の動きが出てきています。非常に困ったことです。

ー安心して預けられる保育園を守り、作るためにー

保護者が安心して働き続けるには、安心して預けられる保育園が不可欠で、それは国や京都市の保育制度が大きく関わっています。市保連として、今後も保育園や保育士と一緒に保育制度の改善に取り組むことが重要だと感じた学習会となりました。

（副会長　藤井　豊）

新会長のご挨拶　　田中智子（白い鳩保育園）

この度、市保連の会長に就任しました田中智子です。子どもは、現在、北区の白い鳩保育園の年長と１歳児クラスで毎日楽しそうに過ごしています。

私が市保連に関わるようになったのは、2015 年に保育料が所得税から住民税を算出根拠とすることで値上げされた際に、集団で行った不服申し立てに参加したことです。その後の交流会で、他園の様子を聞く機会があり、自分の園との違いに驚くとともに、これは保育園を通じた子どもたちの経験の格差につながるのではないかという心配が生じました。また、第二子妊娠中に、猪熊弘子さんの『死を招いた保育』（2011 年ひとなる書房）を読んで、保育園で子どもが死亡したのは、避けられない事故ではなく、大人たちの側の問題だと気づき、大人同士がつながらないと子どもの命すら守れないと思ったのも保護者会活動に本腰を入れるようになった大きなきっかけとなりました。

現在、京都市内でも、認可外などを含む多様な保育施設が急増していたり、市営保育所の民営化が進んでいたりととても心配なことが多くあります。子どもたちの安全や安心を守りたい！子どもたちの社会に出る前の子どもたちの中に格差を持ち込まないで！ということを市保連の活動を通じて、皆と共有できたらと思います。

また、市保連では、“子どもを育てる保護者”ということだけで大人同士がつながっています。仕事上の肩書やその他のいろんなしがらみは無しで、とても気楽で居心地の良い関係です。個人的には、京都の町中に知り合いが増える感じで、仕事で京都に暮らすようになった私にとっては、第二の故郷をつくっているというところでもあります。

子どもを真ん中におきながら、大人同士が楽しみながら、でも大事なことは一緒に考え行動する！ということで、市保連の取り組みを進めていきたいと思います。多くの仲間が増えることをきたいしています！

退任のご挨拶　　中村　陽介（風の子保育園）

先月６月２日に 2019 年度市保連総会を開催しました。お休みのところ、ご参加いただき誠に有難うございました。また日頃より市保連にご協力いただいている保護者のみなさん、仕事と子育てのなかで保護者会活動に尽力されていることに本当に頭の下がる思いです。今総会を持ちまして、市保連会長の任を終えることになりました。2016 年度から３年間会長を務めさせていただきました。

今年３月に第３子が保育園を卒業し、「ようやく」という気持ちでいっぱいでしたが、４月から新生活がはじまると毎日の保育園の送迎の時間がなくなりさみしい気持ちが湧き出てきました。保育園には１０年間お世話になり、子どもも成長しましたが、親としてもたくさん成長させていただきました。

我が子がはじめて登園した日。子どもにとってはじめての社会への一歩でした。子どもも親も不安でいっぱいで、泣きながらバイバイをして、親はろくに仕事が手につきませんでした。母はお昼休みを使って毎日授乳に足を運び、送り迎えのなかで、親同士つながり、子育

ての悩みを先生たちに相談しながら、親として成長していきました。それよりもさらに早いスピードで、子どもたちは成長していき、集団生活のなかでぐんぐん発達し、親が教えていない生活の力を身につけていきました。あったかい給食で身体も大きくなっていきました。

子どもたちが無事に卒園出来たのは、保育園の先生方のお陰であると深く感謝しています。０歳から５歳という人生において大切な時間に、子どもの最善の利益を考え、成長と発達に力を注いでくれました。近年、「保育の量的拡大」を謳い文句に、急速に保育の規制緩和と市場化がすすめられています。保育制度も劇的に変わり、私たち保護者の目線でも現場の先生方の大変さを感じています。そんな状況だからこそ、保護者、職員、保育所協力者が力をあわせることが何より大切だと思います。保護者会は、同じ働く労働者として、地位や役職の関係のない対等な関係で、子どもたちのために少しでも保育環境を良くしていこうと努力してきました。市保連は、保護者会同士をつなぎ、学び交流しながら力をあわせてきました。保育園保護者を卒業しますが、保育所協力者として保育園に関わる出来うることを協力したいと思います。もっと社会全体で、子育て、保育の認識が深まればきっと変わると確信します。

市保連の今後益々の発展を願い、ＯＢとして微力ながらサポートしていきたいと思います。本当にお世話になりました。

【第１回保護者会活動交流会のご案内】

日時：８月７日（水）19時～21時
場所:こどもみらい館（４階第２研修室B)
http://www.kodomomirai.or.jp/

主な内容として、
①各園からの相談・悩みの交流、情報交換
②無償化など保育をめぐる最新情報の学習
③国・京都市への要望についての検討
などを予定しています。



各園の役員が抱える悩みを相談したり、他の保育園の情報を知り、多彩な保護者会活動を交流する機会です。お仕事と子育てで大変お忙しい日々と思いますが、ぜひご参加ください。未加盟の保護者会、保護者会の無い保育園からの保護者個人でのオブザーバー参加も歓迎します。

当日保育を希望される方は、７月２８日までにメール(info@shihoren.net)にてお知らせください(保育料無料)。折り返し担当者からご連絡します。